

令和8年度 第3回 生産技術人材育成講習会

～次世代型食品工場への進化プロセス～

レジリエンスな組織でつくる安全

Safety-II×ノンテクニカルスキル

現場の『あれ?』を見逃さない気づきと情報共有による事故
防止

受講無料

7月13日 月

13:00～14:45

オンライン開催

食品工場の自動化に向けた技術者育成は、経験や現場ごとの工夫に大きく依存してきた一方で、体系的に学ぶ機会は限られており、人材育成や技術継承に課題を抱えているのが現状です。そこで、本講習会では、食品工場の自動化に必要な実践的な知識と技術を体系的に学べる全4回の構成とし、工場がどの段階を経て進化していくのかを捉え、各回は完結したテーマで構成し、現場で活かせる視点を提供します。

こんなお困りごとがある人にオススメ

- ✓ 設備担当者だが、設備の故障やメンテナンスの際に基礎知識がなく戸惑う。
- ✓ 業務改善する上で、優先順位をつけて取り組めるようになりたい。
- ✓ 社員教育のため、生産管理に関するツールや学習教材を探している。
- ✓ 現場の人手が足りず、ロボット等の自動機の導入を検討している。



<概要>

開催形式：オンライン（Microsoft Teams）

対象者：食品企業生産性向上フォーラム会員

参加費：無料

申込方法：<https://forms.office.com/r/KFFcEYxHEm>

※申込み期限：2026年7月10日(金) 12時まで

その他：講習後のテストで基準を満たした方に、修了書をお送りします。

お申し込みはコチラ↓



詳細は裏面をご覧ください

第3回：レジリエンスな組織でつくる安全文化

Safety-II × ノンテクニカルスキル

現場の『あれ?』を見逃さない気づきと情報共有による事故防止

開催日：令和8年7月13日（月）13:00～14:45

講師：山形県立産業技術短期大学校 教授 山口 俊憲 氏



お申し込みはコチラ↑

内容

食品製造現場における事故防止と安全文化の向上をテーマに、Safety-IIとノンテクニカルスキルの考え方を学びます。人間の特性、レジリエンス、状況認識、意思決定、コミュニケーション、情報共有などを整理し、現場の「あれ?」という気づきを事故防止につなげる方法を考えます。

得られること

事故が起きる背景を理解し、現場の小さな違和感や気づきを共有する重要性を学びます。また、「失敗を減らす」だけでなく「うまくいっている実践を増やす」という視点から、安全性と生産性を両立するための実践的なヒントを得られます。

狙い

現場が自ら状況を判断し、気づきを共有し、改善していくレジリエンスな組織づくりを目指します。安全文化を高め、事故を未然に防ぎ、人が定着する職場づくりにつなげることが本回の狙いです。

講師紹介



山形県立産業技術短期大学校 山口 俊憲 教授

専門は人間工学、安全、人間中心生産工学。山形赴任後、現場改善や人材育成に関わった団体は100以上、20年以上継続する生産改善に関連する講座の開講時間は約2000時間。最近では、「コト×モノ」の改善として自動機開発にも取り組む。

【業績】第52回IE文献賞(貢献賞)受賞

食品企業生産性向上フォーラムとは？

食品産業に係る国の施策情報などの情報を食品企業や機械メーカーの皆様にご提供いたします。フォーラムでは、食品製造業の自動化設備/施設の導入、機械化、DX、食品製造現場における生産技術人材育成の支援します。どなたでも無料で参加可能ですので、ぜひフォーラムを活用して生産性向上にお役立てください。

